

通じ、新たな活動のきっかけとなるよう側面支援を行っていく。



地域住民に配慮した周辺整備を

【問】東京女子医科大学東医療センター予定地周辺の各幹線道路では、朝夕の渋滞が起き、病院移転後、さらなる混雑が予想

される。交通量調査をし、渋滞緩和対策を図るべきかどうか。

【都市建設】幹線道路対策は、補助第138号線の整備見通しが立っておらず、病院の施設配置等設計において少しでも渋滞の緩和が図られるよう、東京女子医科大学に協力を求めていく。

また、生活道路対策は、病院の整備計画が明らかになり、緊急車両の出入り箇所等が確認でき次第、交通規制等について、交通管理者と協議をしながら検討していく。そのために必要に応じて交通量調査も行っていく。

日本共産党足立区議団

国保・介護の負担増はやめ

くらし応援の区政を

日本共産党 はたの 昭彦 議員



国保制度の都道府県化による値上げを抑え、区民の不安解消を

【問】①国保制度の都道府県化に向け、厚生労働省はガイドラインを改定し、第3回目の試算結果を報告するよう通知した。

②統一保険料方式を守り、値上げを抑えるべきかどうか。③都に財政負担を求め、保険料を引き下げるべきかどうか。

【区民】①一般会計からの繰り入れを行わない場合、当区では保険料が約30%上がる試算結果が出ている。

②今後も区長会の了承を得られるよう努力していく。③区の実情を説明し、必要な財政負担を図るよう意見を述べる。法の改悪による値上げ反対!

本計画の見直しを行っている。①以前の計画では限られた業種しか対象となっていないが、建設業を含む全業種を対象とした計画とすべきかどうか。

②公契約条例の精神に基づいた計画とすべきかどうか。③既存の事業者が元気に頑張るための支援を強めるべきかどうか。

【産業経済】①次期計画では建設業を含む全業種を対象とした経営力強化や人材確保・育成支援を盛り込む予定としている。

②計画のみならず、計画の実段階でも最大限遵守していく。③様々な業種・業態があることから、これまでの支援策を分析・評価し、一層効果が上がるよう見直しを行っていく。

職種別賃金を公契約条例に規定

【問】区は認可保育所だけでも3年で42園を整備する計画であるが、保育士確保も欠かせない。野田市では、保育士等、職種別賃金を作成し、賃金の確保を行政として後押ししている。区も職種別賃金を公契約条例に定めるべきではないか。

図書館・子ども会の発展

空き家対策の前進を!

日本共産党 鈴木 けんいち 議員



図書館の充実で魅力あるまちを

【問】①図書館の魅力を高めるため、区民の希望する図書を中心に蔵書を増やすとともに、一大読書運動を展開し読書意欲を高めることや図書配列の工夫等を行うべきかどうか。②全国では図書館を核としたま

【総務】保育士の時給が年々高騰していることから、保育士については足立区公契約条例でも職種別賃金を検討していく。



親子型噴水としての整備を提案

【問】北綾瀬駅の平成30年度始発駅に向けて、まちが変わりつつある。しょうぶ沼公園噴水広場は、交流、イベント空間としての整備を検討とのことだが、噴水施設は残すべきかどうか。現在、噴水は故障したまま放置されている。親子型噴水は、使えない期間は広場の利用も可能だ。公園整備と合わせ親子型噴水として整備してはどうか。

【みどり】噴水施設は、施設管理上支障が生じているため停止している。噴水広場の整備は、まちづくり勉強会の皆さんと相談しながら検討を進めていく。

より効果的な方法を検討する。②第三次基本計画の「地域計画」に基づき充足しているため、綾瀬地域での建設計画はない。

西新井地域では、老朽化した梅田図書館の建て替えも含め、施設再編の中で検討する。空き家活用の道を開くために

【問】住民と一体になった空き家対策に取り組み、住宅改良助成拡大、家賃補助制度創設を行い前進させるべきかどうか。【建築】まずは、空き家を活用した新たな国の住宅セーフティ

足立区議会民進党

犯罪、災害、貧困から子ども達を守り、育ちを支援

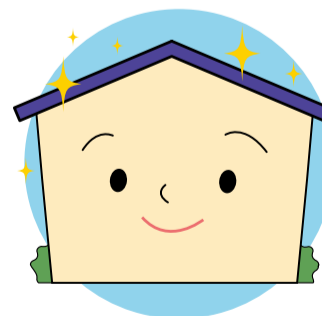
民進党 米山 やすし 議員



図書館の年末年始開館を求める

【問】昨年の年末年始にかけて、23区の平均閉館日数は5.7日という中で、区の図書館のみが8連休であったことについて改善を求めるがどうか。

【地域】年末年始開館の他区の状況を踏まえ、まずは12月28日及び1月4日の開館日に合わせた開館に向けて、指定管理者との仕様変更等の課題を洗い出し、平成30年度の開館日拡大に向けて調整していく。



ネット制度による改修補助の動向を注視し、空き家等利活用の推進策を検討する。23区で最も公営住宅が多く、家賃水準が低い区の現状から、家賃補助制度を作る考えはない。

【問】住民と一体になった空き家対策に取り組み、住宅改良助成拡大、家賃補助制度創設を行い前進させるべきかどうか。【建築】まずは、空き家を活用した新たな国の住宅セーフティ

ワースト回避へ全区的対策を

【問】平成29年7月現在の刑法犯認知件数が3千930件と、3月から5カ月連続で都内最多であることに危機感を抱く。年間ワースト転落はなんとしても回避しなければならないが、区長の決意を聞く。

【区長】警察等と話をし、防

「皆様の声を政策に」希望の光で照らす社会の実現を

民進党 長谷川 たかこ 議員



子育て支援で多文化共生を

【問】(仮称)あだちく多文化子育て支援プログラムを早急に立ち上げ、主に就学前外国人児童がいる家庭を対象にした子育て支援事業を行うべきかどうか。

犯カメラの空白地域が狙われている等の話はあったが、件数増加の抜本的な原因は探り切れていない。

一方で空白地域への防犯カメラ設置が進んできており、効果の声も伺っている。侵入盗・自転車盗については鍵をかけていただくことにつきますので、PRを通じて区民と危機感を共有することが区政の役割と考えている。最後まで諦めず粘りに粘って、という姿勢で臨んでいく。

【問】水害は直前の対策が有効であるが、情報伝達手段の一つとして、FM放送の認識について問う。

【危機管理】本年度から平成32年度まで実施する防災行政無線のデジタル化施工に伴い、災害発生後に臨時FM放送局を開設できる機器を導入する計画であり、今後、運用方法等を検討していく。

【問】平成29年7月現在の刑法犯認知件数が3千930件と、3月から5カ月連続で都内最多であることに危機感を抱く。年間ワースト転落はなんとしても回避しなければならないが、区長の決意を聞く。

【子ども】現在、区としてプログラム策定の予定はないが、個別の事業から見えてきた課題がある。「あだちくこ歯科検診」では、未受診の未通園児のうち、ハイリスクと想定され、訪問対